

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		市道舗装補修事業						予算事業名		市道舗装補修事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法				
			08	02	02	1101	経常経費						
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分	主要事業				
	2-3便利で快適に移動できるまちづくり(道路・公共交通)												
	③道路維持管理の充実							担当課係等	土木課				
	1安全に利用できる道路管理								維持係				
事業期間		継続(昭和30年度～平成33年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
安心・安全な道路とする。							住民からの要望が多く、道路の安全確保については、ますます緊急的な対応が求められている。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
道路の穴・段差・路肩の崩れ等の危険個所の補修を行う。							道路の利用者。						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							舗装の経年劣化に伴うひび割れや段差に加え、近年の集中豪雨による路肩や道路法面の崩れが多数生じている。市民からの舗装補修要望は多く、予算が追いつかない状態であり、道路の状態や利用環境により、緊急的に対応する場合と年次計画に組み込み順番に対応していく場合とがある。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
・舗装補修工事(箇所付け工事)				・舗装補修工事(箇所付け工事)				・舗装補修工事(箇所付け工事)					
・舗装補修工事(緊急対応工事)				・舗装補修工事(緊急対応工事)				・舗装補修工事(緊急対応工事)					

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	110,841	100,000			
歳入計(千円)		110,841	100,000			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	15 工事請負費	102,700	95,000			
	16 原材料費	4,977	5,000			
	22 補償補填及び賠償金	3,164	0			
歳出計(千円)(A)		110,841	100,000			
伸び率(%)			-9.78			
備考	総合計画 77～79ページ 予算書 136ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	道路の補修（穴、段差、路肩の補修）	k m	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	1.70	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	要望・相談に対しての達成件数	件	目標	80.00	125.00	120.00
			実績	64.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	誰もが安全で快適に通行できる道路は市民生活における重要基盤である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	緊急性、必要性を考慮し、道路管理者が実施することが責務である。
	手段の妥当性	A 妥当である	緊急性を鑑み、対応できる業者を選定して発注している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	年々要望による補修箇所が増える中、緊急性必要性に加え、コスト効率につながる費用対効果を加味し、優先順位をつけて予算内で処理を行っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内全域を対象に道路管理者が実施すべき内容であり、公平性は高い。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	生活道路の安全確保につながっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	年次計画で対応しているものについては順調に進んでいるが、住民からの要望を見る限り市道全体をカバーするには至っていない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
道路補修要望が増加傾向をたどる中、削減もしくは現状維持の予算および人員で対応している状況であるので、市道全体をカバーすることは難しい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
道路補修要望箇所が増加傾向をたどる中、削減または現状維持の予算および人員で対応している状況で、市内全域をカバーするには至っていない。また、緊急性の高いケースについては安全第一であるため、コスト効率のみを追求することは難しいことから、これまでの補修実績データを整理し、年次計画に先立つ市道整備計画や補修基準等の指針を数年毎に見直しするなど、出来る限り計画的な整備を行える体制づくりを進めたい。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 維持管理に対する要望が増えていく中で、常にその箇所に応じた費用対効果を考慮し、最適な施工方法を選定してコスト削減、成果向上を図る。なお、人と金の拡充については、財産状況と出来る限り調和を図りながら進める。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。